

# あづまるホール はちまんだより

—第12号— (平成19年度総集編)

発行:八幡まちづくり協議会

《事務局》〒028-3163 岩手県  
花巻市石鳥谷町八幡23-147



八幡振興センター

電話/FAX (0198) 45-3535

平成20年3月15日発行

## 初年度を振り返って

新・花巻市の“小さな市役所構想”のもと、八幡まちづくり協議会が誕生してからこの一年間、とてもめまぐるしく、まちづくり事業活動や諸行事をはじめとする様々な出来事がありました。

### 前期

#### ✿ <4月> 設立総会 (4/10)

設立準備委員会が平成19年2月から進められ、石鳥谷地域で先陣をきったのが当協議会でした。この年は、全体的に“まちづくり元年”と言われていますが、既にこの八幡地区には、コミュニティの先駆けとも言える20年以上の伝統と実績を誇るまちづくり体制の基盤がありました。それに生涯スポーツなどの既存の組織が統合、6つの専門部会から構成される新体制が発足しました。従来の公民館に“小さな市役所”という役割を兼ね備えた八幡振興センターを拠点とし、市の地域づくり交付金という本格的な財源を伴った『八幡まちづくり協議会』の誕生です。八幡の新しい歴史が始まった運命の瞬間、そして新たな挑戦の幕開けでもありました。設立総会では、組織体制や規約等が決められました。

当振興センターでは窓口証明業務を開始、7つのサークルやちびっこ広場などの新年度活動も始まりました。



設立総会



#### <5月> まちづくり広報の創刊

八幡まちづくりの広報紙『はちまんだより』第1号を発行。最初の事業計画作りのため、各部会議が始まりました。また、農繁期を迎え、都市農村交流事業グリーンツーリズムも始まりました。



#### <6月> 産業活性化セミナー

まちづくり委員や各地区代表者にも集まっていたいただき、産業活性化セミナーを実施しました。地区行事では、八幡地区体育祭が開催されました。江曾運動広場管理運営委員会が発足し、夏のスポーツ行事に向けて、除草等の管理業務を行いました。



産業活性化セミナー



#### <7月> 代議員会

臨時で開催された代議員会で、初年度のまちづくり事業計画策定のほか、事業方針や重点目標が定められました。まちづくり行事として、ふれあい懇談会や第1回給食サービスを実施。青空広がる江曾運動広場で開催された親子ソフトボール大会では、暑さの中、一生懸命健闘してくれた子供たちを称え、全チームが表彰されました。



親子ソフトボール大会



#### <8月> 第1回スポーツ屋台村

今年度最初のスポーツ屋台村や高齢者グランドゴルフ大会などスポーツ行事が盛んに行われ、部会報『保健体育部会だより』が発行されました。青森県田舎館村の田んぼアートなど様々な事例を紹介した地域産業活性化講演会も好評でした。



大水害 (石鳥谷中学校北側)



#### <9月> 大水害の発生

残暑厳しく、おりしも一連の秋祭や敬老祭が終りを迎えた9月半ば、長時間降りしきる大雨の影響で多くの河川が氾濫、特に北上川沿いに位置する当地域の東側一帯が大きな被害を受けました。石鳥谷中学校のほか、実に40世帯以上が浸水、140人以上が避難、農作物も深刻な影響を受けました。地元の方々のご支援ご協力のもと大惨事は免れましたが水害対策が課題となっています。

## 後期

### ＜10月＞追加事業計画の取り組み

今年度事業の後半の取り組みに向けて各部会議が多く実施されたほか、グリーンツーリズムの終了式も行われました。



文化祭

### ＜11月＞文化祭・まちづくりのつどい 毎年恒例の秋の祭典、文化祭が盛大に開催されました。約300点以上の展示作品が並び、メインイベント『まちづくりのつどい』では舞台発表や特別ゲスト中川愛子社中による華やかな演芸など見応えたっぷりの内容に、お茶会や産直コーナーも加わり大好評でした。福祉バザーにもたくさんご協力いただき大盛況でした。宮城県鳴子町で実施した産業活性化現地研修会の模様を『産業部会報』で報告しました。

宮城県鳴子町で実施した産業活性化現地研修会の模様を『産業部会報』で報告しました。

### ＜12月＞親子卓球大会 一足早い冬の到来に負けることなく、親子卓球大会やニュースポーツ交流祭などの体育行事が盛んに開催されました。当センターでは、ちびっこ広場クリスマス会やしめなわ飾り作り教室など冬の季節行事も多く実施されました。



三世代交流会

### ＜1月＞三世代交流会 地元の方々と子供たちが一緒に昔遊びや餅つきなどを楽しむ三世代交流会が賑やかに開催され、その様子がテレビニュースや新聞でも伝えられました。

また、八幡ミニバスケットボール少年団が県大会で見事優勝を果たし全国大会出場を決めました。子供たちの元気な姿や屈託のない笑顔を目のあたりにしながら輝かしい新年が始まりました。『はちまんだより』も1月号よりカラー版に刷新しました。

### ＜2月＞コミュニティ会議情報交換会 石鳥谷会場には約140名の参加者が詰めかけ、各地域の活動状況を発表しました。八幡の発表では、各部会行事の映像を放映しながら今年度の活発な取り組みの様子を紹介しました。翌日には、子供たちの通学安全を支援するためのパトロールユニホーム交付式が行われました。

### ＜3月＞給食サービス（雛祭） まちづくり初年度もいよいよ大詰め。この時期に福祉ボランティア行事が様々実施されました。桃の節句に開催された第3回給食サービスでは、雛壇を飾り付けして雛祭の歌を合唱、手踊りのほか、当センター実施の避難訓練にもご協力いただきました。また当協議会では、全国進出を決めた八幡ミニバス少年団の前途を祝して横断幕を贈りました。



給食サービス

#### 《寄稿》

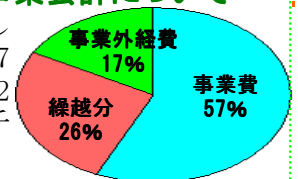
#### はなわけ 桜への饞

毎年見事な花を咲かせ、地域の人達を楽しませた小学校の桜のかわりに、見上げるような高いフェンスが建って二年。子供達の安全が守られるようになったが、大人に与えられるばかりではなく、自分で考えて行動する力を持てるよう導くのも地域の大事な役目であると思う。それが消えた桜へのせめてもの饞になるのではないだろうか。

(堂前地区/似内千鶴子さん)

#### ★ 19年度の八幡まちづくり事業会計について

収入見込額6,506千円に対して支出見込額は、事業費5,397千円（うち来年度繰越分1,712千円）及び事業外経費1,109千円となっています。



#### ★ 19年度の各施設利用状況(月平均)について

平成19年4月～20年2月までの一カ月当たり利用数は、八幡振興センターが約45回840人、八幡交流センター（体育館）が約50回730人でした。また、窓口証明件数の月平均は約10件程、まちづくり印刷機の利用数も同様に約10件程となっています。多くのご利用ありがとうございました。

今年度最後は、季節の移ろいを告げる春先の風物詩・白鳥の写真で飾ります。(写真は石鳥谷町内の北上川で撮影しました。) 今年はお天気に雪が多かったせいか中々お目にかかれませんでした。当センター周辺にも十数羽ほど飛来していたようです。3月になって北方に帰る多くの白鳥が八幡の夕焼け空を飛んで行きました。

今後も『はちまんだより』は、まちづくりの原動力である子供たちや地元の方々の“笑顔”という花をいっぱい咲かせてゆけるよう、より良い紙面作りを目指してまいります。【総務広報部会】



北上川の白鳥